

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和57年3月1日

第45報

植物プランクトン

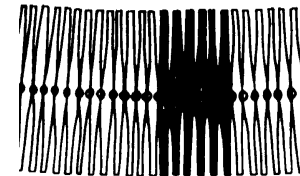
(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		◎
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Synura uvella</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	320	◎	○
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	220	○	
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(緑) <i>Oocystis submarina</i>	160		
(藍) 藍藻綱	20	2.5	47.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	5.0	2.1
(珪) 珪藻綱	580	72.5	35.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	160	20.0	15.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	800	総体積	5.51E+05
種類数	8	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	320
第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	220

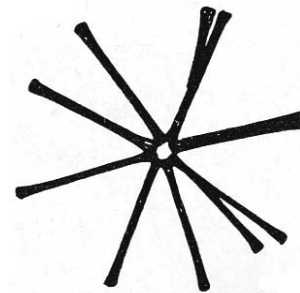
植物プランクトン第1優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

植物プランクトン第2優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。